

第 9 回中野区子どもの権利委員会
(令和 7 年 1 1 月 1 日)

午後1時45分 開会

事務局（子ども政策調整係長）

皆様こんにちは。会議の開催に先立ちまして、事務局からご報告させていただきます。本日8名の委員の方がご出席ということでございます。大月委員につきましては、ご欠席のご連絡をいただいております。委員の過半数の方が出席されてございますので、委員会は無効に成立してございます。

資料につきましては、本日は紙の資料となっております。お手元にごございます資料をご覧くださいと思います。

それでは、内田会長、会議の進行をよろしくお願いいたします。

内田会長

第2期第9回中野区子どもの権利委員会を開催したいと思います。

次第をご覧ください。本日は、子どもの権利の日フォーラムなかの2025において、子どもの権利委員会の活動紹介、そして、子どもたちとの意見交換、対話をしたいと思います。

まず、議事の1、子どもの権利の日フォーラムなかの2025における子どもへの意見聴取及び子どもの権利委員会活動紹介について、事務局のほうからご説明をお願いいたします。

事務局（子ども政策調整係長）

《資料1について説明》

内田会長

ありがとうございました。これですぐ移動ということになるのですが、動き方として、先ほど、別當委員と井田委員と一緒にやってみて、会場の後ろに結構人が通るんですね。それで、通りすがりにこれなんだろうって、ちょっと歩みを緩めるときに声をかけると、その場で子どもたちが話をし、付箋に書いてくれたりとか、こちらからちょっと声かけすると誘導できる感じになっていたので、私たち人数これだけいるので、まずヒアリングやってから、その後の子ども相談室ワークショップを見ていただいてもいいですし、あるいは、後ろで声をかけるということをやしつつ、ソトニワでプレーパークをやっている、そこでも私たちからのお願いで、どんな居場所があったらいいかというヒアリングをやっている、そっちの方も見に行っていたりなど、動いていただきながらやるという感じがしました。以上です。それではさっそく移動しましょう。

《子どもの権利の日フォーラムなかの2025における
子どもへの意見聴取及び子どもの権利委員会活動紹介》

事務局（子ども政策調整係長）

ここからまた、会長の方に進行いただきたいと思います。議事の2番です。よろしくお願いいたします。

内田会長

最後、その他です。

今日全体を通しての感想を共有しますか。早速回していきたいと思います。順番に行きましょうか。相川委員から順番にお願いしてよいですか。

相川委員

お疲れ様です。私は、ちょうど前のエリアで中学生3人のお話を聞くことができました。3人の部活は、吹奏楽部、野球部、演劇部とのこと。ホッとできる居場所はあるかと聞いたところ、学校、部活、家というお話でした。図書館に行ったり、南の方に区民活動センターの2階に子どもたちで集まってお話しできる場所があるそうで、こんな場所がもっと増えて欲しいと言っていました。結構混んでいるらしいのですが、そこに初めて行ったのはいつかと聞いたら、中学生になってからで、友達に誘われていったと言っていました。小学生の時に比べると勉強に部活、部活が終わってから習い事に行ったりと、本を読む時間や、友達と遊ぶ時間が減ったと言っていました。部活がない平日に、着替えてから区民活動センターに集まって5人くらいで話したりすると言っていました。あと、男の子が天神公園というところに、土日や部活がないときに遊びに行って、屋根のあるエリアがあるそうなのですが、その屋根の下に寝っ転がるために自分達でブルーシートを持って行って、敷いてゴロゴロ寝っ転がるということを話していて、すてきだなと思いました。試しに就寝時間を聞いてみたのですが、中学生は午後10時から12時に寝るという感じでした。6時か7時に起きるようですが、それでも日中眠いと言っていました。日々忙しいのだなと感じました。先日別の場所で小学生にヒアリングをした時は友達の話がいっぱいできたのですが、それに比べると中学生は友達の話題よりも勉強や活動の話が多く出てきて、世代の差を感じる時間となりました。

隅田委員

後ろの方をメインに担当をしていました。なかなか最初のうちは、ああいう空間に足を踏み入れることは子どもたちにも親にも敷居が高く感じられるので、なるべく入りやすい空気感は作らなければいけないなという風に感じました。でも、いざ始まると、子どもたちは積極的に自分の意見や考えを字や絵で表すことができるので、なかなかなものだ

なと感じたということと、屋外でいろんなブースにたくさん子どもがいるので、声をかけようと思えばかけられますが、そのブースを楽しんでいることも、今この子たちの居場所だったり時間と思うと、無理やり引っ張り込むのもと思い、自然な感じで上手くできたかなというのは反省点です。

出竹委員

私も後ろのブースにいました。やはりあの場所に入ってくるというのは、ちょっと入りづらいのかなというところはあったのですが、ご用意いただいたお菓子のボックスがすごくよかったと思います。ボックスに手を入れて好きなお菓子を取れることが楽しそうで、その様子を見て他のお子さんも入ってきてくれたりしていたので、参加のハードルが下がり本当によかったなと思いました。意見としてはすごく夢のある意見を書いてくれたりとか、すごくいいなと思うものが多かったのですが、一つすごく印象に残っていたのが公園に一輪車の貸し出しがあるといいというような内容で、良い意見だねって聞いていました。しばらく何も言えない、書けないというお子さんもいたのですが、できるだけ見守りながらペースを見ながら表現してもらえることができたかなと思います。

小宮山委員

最初に高校生が2人いるところにいて、なるべくあまり細かく声をかけないで、2人がしゃべっているところを聞いて、相槌を打とうと思っていったら、片方の子は小学校から私立だから、中野の場所ってあんまり知らないってということで、でも子ども相談室ワークショップに参加してこんなにいい友達ができたと、もう片方の子は、中学校から私立に行っていて、学校が居場所でもとてもいいって言って、小学校から私立に行っていたという高校生の女の子は、家は嫌だと、家じゃなくて他のところでちょっとゆっくりできるところがいいってというようなことで、途中から野村先生がかなり声をかけてくださっていたんですけれども、うなずいたり、聞いたり、共感して、そうそう私もそう思っているって、映画館が欲しいとか、そういうところはやっぱり高校生の気持ちだなということで、やっぱり2人ともお金かかってしまうので、簡単なところで言えばベンチがもっとたくさんあるといいなあなんてことも書いてくれていました。後半は、後ろのところで小さい子たちがいっぱい絵を描いたりしていましたけど、皆さんとても引き出すのが上手で、小さい子も書きやすかったんじゃないかなと思いました。あと、保護者の方も書いていいんですよとか、希望出していいんですよとか、別當委員は最後お母さんから色々引き出して、希望などを出してもらっていましたが、保護者もああやって言える場所があつてとてもよか

ったんじゃないかなと思いました。それから、今日は子どもたちから聞いているところを、大勢の大人が見てくれているというのが、私はすごくいいことだなと思いました。

別當委員

お疲れ様でした。私のいたテーブルには小学校5年生、6年生くらいの女子が集まっていて、男子も1人いたんですけれども、学校の不満が多かったです。今日は自由に言っているよと言って、いっぱい不満を抱えているんだなと思ったんですけれども、現実的にテストはiPadではなく紙がいいとか、改善できそうな明確な課題もあって面白かったです。みんなやっぱり塾に行き始めるから、塾に行っていない子は遊ぶ子がなくて寂しいという意見もありました。私が印象に残ったのは、失敗しても笑ってくれる先生がいてほしいってという言葉が切実にも思えたりとか、意見を言わない子は付箋を折り紙にして、飛行機を作ったりお花を作ったりしてくれて、そこにずっといてくれたっていう感じで、すごくみんな積極的で驚いたのと、和気あいあいとして私も楽しめたので、良い経験ができました。ありがとうございます。

井田委員

今日はお疲れ様でした。ありがとうございました。私はテーブルで高校生がいた席と同じなんですけれど、小学校4年生、6年生と4年生の3人の男の子がいるところでお話を聞かせてもらって、やっぱり最初は何を言っているかわからないからちょっとモジモジしていたのですが、私も5年生の男の子がいたので、自分の子どもの話をしたりとかしながら、ちょっとずつ話を聞き出すことができたのですが、6年生の子は本当に時間がないということを言っていて、ピアノと塾とサッカーをやっているの、学校から帰ったら習い事に行くのが日常なので、家で過ごしたりとかどこかに行くことがあまりないと言っていました。逆に、4年生の子は何も習い事はしていないけれども、家でオンラインゲームをするのが帰ってきてからやることだから、あまり外に遊びに行ったりはしないんだけどと言っていたんですが、ちょっとずつ話を聞くと公園の遊具が4年生くらいから小さい子向けのものが多くなってきて、遊具でもうちょっと遊びたいのになという外遊びの意見も少しずつ出てきて、それを意見だけでなく絵に描いてくれたりとか、居場所として何かするというわけではないけれども、ちょっと集まれる場所みたいながあると嬉しいという意見がありました。子どもの時間がないというのが本当に切実なところなのではないかなと思って、何か居場所が欲しいって聞く以前の問題なんだなと思いました。

林副会長

ありがとうございました。お疲れ様です。私のところは、小学校4年、5年、6年生の女の子を中心に、出たり入ったりしていましたが、実際どうかはともかく不審者については結構気になっている、見回りとか学校の周りの話がありました。また、遊び場についても、子どもたちだけで遊びたいというのはあるんですけれども、でもやっぱり何かあったときに大人が見守ってくれるといいみたいなことがあったので、プレイワーカーとかそういう存在なのかなとは思いますが、そういう人がいるといいのかなというところが大きかったかなと思います。他は、学校の中の不満とかはそこまでなかったです。皆さんに入っていたことで大体25分くらいだったかなと思うんですけれども、子ども相談室のワークショップに参加されていた子どもたちなので、仲がいいというか、お互い知り合っているというところもあって、思っていることを言うこと自体にそこまで抵抗感がないというところの雰囲気があったからこそ出せたのかなとは思ってはいたんですけれども、小宮山委員からは周りの大人がいる中で実施できたのがよかったというのはあった一方で、ああやって見られている場所で意見を言うことははどのようなかなという懸念は元々ある中で、それでもあまりみんな気にしないで言えていたことは結構大きな特徴だったなと感じています。今回結構オープンな場でやっていたので、そういう意味では堅苦しくならないで、会場も明るく天井も高かったりして、普通の会議室でやるということではなかったので、その作りがよかったのかなと思っていて、子どもの権利というと堅苦しくなりそうなイベントだったりする中で、小さい子も含めてやれる雰囲気ができていたのはよかったと思っています。

内田会長

ありがとうございました。私からも、本当にあの話し合いの場が、子どもたちが自然に、プレッシャーをかけられて話さなくちゃいけないという場じゃない場を作れたのが本当によかったかなと思いました。あの形にしたのはそこが目的だったので、去年の子どもの権利の日フォーラムで、壇上に子どもを上げてその場で意見を聞くというところが子どもも構えてしまうし、何か言わなきゃって、いいこと言わなきゃとか考えてしまうところがあるので、なるべくそうではない、いろんな意見をだせる、また、その場にいるだけでもいい、言わなくてもいい、付箋を折り紙にしてくれてもいい、そういう場を作れたのがよかったと思っています。通りがかりの親子に聞いたこともよかったと思っていました。私も、いろいろ子どもの話を聞けて、あの後まとめてたんですね。どんなことがこの先、答申に生かせるかなと考えたときに、皆さんからも出ていた話で、一つはやっぱり

時間なのかなって、居場所の物理的な環境整備ということで、公園に自動販売機が欲しいとか、駐輪場が欲しいとかそういう声もあったんですよね。で、そういうこともたくさん出ていて、それをまとめるっていうのも一つなんですけれど、それだけじゃなくて、そもそも公園で遊ぶための時間があるのかっていうところは、子どもから聞いて思ったことで、特に時間というところでは、学校で休み時間が足りないという声があったのも、15分は短い、30分欲しい、せっかく遊ぼうと思っても十分に遊べない、そこは併せて書かないといけないところじゃないかなと、柱として、視点として持ったらいいなと思ったところでした。あとは、こまごまと言うと、無料であること、お金がかかるからというところで、書き留め忘れてしまったのですが、ワワワ何とかってありますか。そこで、お金を払うと、W i - F i を無料で使える、S w i t c h を無料W i - F i に繋がたいって言うてる子がいて、W i - F i っていうところって、すごく子どもたちの遊びに今大きいのかなっていうのは思いました。ワワワ何とか、ワワワッフルです。鷺宮にあるんですね。

井田委員

1階がワワワッフルc a f e っていうワッフル屋さんで、2階がテクリエっていう、前ちょっとお話出たと思うんですけど、中高生しか入れないカフェです。

内田会長

一番安い商品が240円だったんですけど、240円払えばそのW i - F i が使えるって言うていました。でも240円払わないといけなくて、無料じゃないから、無料でそういうことができるっていうのはありましたね。あとは、大きい話で、学校のルールっていう話、ルールがないというルールが欲しいっていう、なるほどそういう表現があったっていう話があったり、先生を勝手に決めないでとか、自分で決めたいとか、そういう声があって、そこは私、自由というキーワードをつくっていたんですけど、子どもに居場所っていう話をするときに自由とか子どもの裁量、自分で決められる、そういうところがあることが重要なんじゃないかなと、自由とか子どもの裁量っていう視点も持って答申をまとめていくといいんじゃないかなと思いました。あと、大人の余裕、さっきの失敗をしても笑ってくれる先生がいたらいい、というのとか、くだらないことで先生が怒らないっていうのもあったんですけど、ここのところをどう捉えようかと思ったときに、大人の余裕とか気持ちの余裕とかそういうところを感じて、そういうことも併せて言っていけないといけないんじゃないか、そういう視点で子どもの居場所について語るのも大事だなと、聞いていて思ったんですよね。学校の給食を選びたいとか、こういうところで自由とか子どもの裁

量で決めるとか、そういうところと子どもがその場所を居心地がいいと感じるかとか、そこでゆったり過ごせるかというところに直結してくるんだなっていうことを今日改めて実感したというところがありました。本当に皆さんのおかげでいろんな子どもたちの、生の声をたくさん拾えて、今後私たちが来年の5月にかけて答申をまとめていくうえでの大事な視点をもらえたかなと、今日はすごく有意義だったなと思いました。また、この次に向けて委員会で引き続き話をしていきたいと思います。今日、模造紙に色々貼ってくれたものを、次の委員会のときにもまとめて共有をするので、そこでも引き続き話を深めていきたいなと思います。今日はどうもありがとうございました。以上で終了です。最後に事務局から事務連絡をお願いします。

事務局（子ども政策調整係長）

はい、皆さん長時間にわたりありがとうございました。それでは事務連絡ということで、チラシを何点か配らせていただきました。全て説明する時間はありませんが、特に説明させていただきたいところとして、江古田の森公園に常設のプレーパークを中野区で初めて作りました。いろいろな外遊びニーズがある中でここに作ったということで、区としてもチャレンジをした、初めての取組だということもありますので、皆様にもご承知おきいただければ幸いです。その次に、子どもと区長のタウンミーティングということで、区の方は今、次期の基本計画、区有施設整備計画を策定中でございます。皆様方にも団体への意見聴取という形でメールをさせていただいておりますが、その子ども版を実施するというチラシですので、ご参考までに配布しております。また、子ども向けのイベントということで、東京子ども図書館という施設が中野区江原町にあります。区の図書館ではなく民設民営の図書館なのですが、そことコラボレーションした企画を検討しておりますので、情報提供させていただきます。もう一つ、区の計画の中で、環境基本計画というものがありまして、策定中のこちらの計画に関しても子ども向けの意見交換会を実施する運びとなりました。子どもに関する取組について、我々も関わってきて思うのが、計画ものに子どもの意見を取り入れていこうというのが、だんだんと浸透してきて、理解をしていただける所管や管理職が増えてくれば、自然と増えてくるんだなと思うところがありますので、皆様方のご意見も含めてもっと伝えていきたいと思っています。最後に、ナカペイのプレミアムキャンペーンを行います。区民であろうとなかろうと、購入できますので、ぜひ応援していただければと思います。情報提供は以上になります。次回の開催については、おそらく年明けになるかと思いますが、2月までには実施したいと思っておりますが、ご案内

をお待ちいただければと思います。取り急ぎ、今日の模造紙については、写真などで皆様方に提供できるようにしたいと思っています。今後は答申をまとめていく作業になってきます。あとは、個別のヒアリングがまだ残っているところもあるかと思っています。そちらの方も同時並行でよろしくをお願いします。皆様からの報告等を踏まえて答申に落とし込んでいきたいと思いますので、残り回数が少ないですが、よろしくお願いします。事務局からのご案内は以上です。

内田会長

以上ですね。これで第2期第9回中野区子どもの権利委員会、終了です。どうもありがとうございました。

午後4時36分 閉会